

ペリー浦賀来航より

マッカーサー離日まで、

近代日本一〇〇年にわたる

極めて詳細な

日本綜合芸能年表。

倉田喜弘
Kurata Yoshihiko

林淑姫
Rin Shukki

上

舞台芸能
1853-1952年
(嘉永6►昭和27年)

映画
1896-1952年
(明治29►昭和27年)

近代日本芸能年表

倉田喜弘 Kurata Yoshihiko | 林淑姫 Rin Shukki
近代日本芸能年表

上
舞台芸能
映画

近代日本芸能年表

倉田喜弘 Kurata Yoshihiko | 林淑姫 Rin Shukki
近代日本芸能年表

下
レコード
ラジオ
物故者
資料/索引

近代日本芸能年表

附・付属資料／索引

◆著◆倉田喜弘／林淑姫

全2巻

刊行のことば

倉田喜弘
林淑姫



芸能とは、演劇、演芸、音楽の各ジャンルにおけるヒトの営みをいう。古い時代はさておき、近代において、芸能は日本と日本人に何をもたらしたのか。外国の芸能が日本に与えた影響は何か。そして時代の進展とともに、たとえば女性の進出のように、日本の芸能はどのような変貌を遂げたのか。映画、レコード、放送のメディアも大きな役割を持つ。行政の関与した事例も探りたい。これらは一例に過ぎないが、世上に現れたさまざまな実態を知るのに、年表は欠かすことができない。

ところが、映画の年表ひとつを取り上げても、内容が緻密・膨大でありすぎて、問題点がぼやける。人が活躍する場でも、松竹や東宝の活動記録こそ整理されているが、消滅した市川少女歌舞伎やかたばみ座などの資料は入手難である。築地小劇場の過去や、現在でこそ活況を呈している落語の昔は、どうであったのか。来日音楽家の動きも知つてみたい。そうした多種多様な欲求に答える手掛かりとして、本書を作成した。

ただしこの年表は、アメリカの提督ペリーが来航した嘉永六年（一八五三）に始まり、マッカーサー離日の昭和二十六年を経て、翌二十七年（一九五二）の日本独立で終わる。ちょうど百年間である。この間には、幕藩体制が崩壊して明治の世を迎え、文明開化が始まつて新しい政治体制が確立する。国際社会へ躍り出る日本。戦争を経て焦土と化した国内。ようやく復興しはじめてテレビが出現していく。その百年間の芸能の興亡の一端を、ささやかな本書が捉えていれば、幸いである。

●著者紹介●

倉田喜弘（くらた・よしひろ）日本芸能史研究 一九三一年大阪府生まれ。大阪市立大学経済学部卒。日本放送協会に勤務後、芸能史研究に入る。著書「芝居小屋と寄席の近代——『遊芸』から『文化』へ」——他。

林淑姫（りん・しゅくぎ）日本近代音楽研究 東京生まれ。早稲田大学文学部卒。旧日本近代音楽財團日本近代音楽館主任司書を経て、明治学院大学大学院客員教授。編著『秋山邦晴「昭和の作曲家たち——太平洋戦争と音楽』他。

1853年～1952年まで、およそ100年間の激動のながれをジャンル毎に収録。

172 ラジオ／1935（昭和10）年

1935（昭和10）年

- 1.1 舞台劇「伽羅先代萩」中村歌右衛門
- 1.2 笑ひの夕・三遊亭円生、榎本健一、林田五郎、柳家三語楼
- 1.6 歌謡曲「鹿児島小原良節」喜代三
- 1.8 管弦楽「第1番」日本交響楽団、ベートーヴェン交響曲連続演奏（昭12.3.22まで9回）
- 1.11 東劇中継で市川左團次の「鳥辺山心中」を予定のところ、心中物は情操教育上好ましくないと放送局の上層部が指摘、五郎劇中継に変わる
- 1.15 長編ラジオ小説「犬娘」市川八百蔵、作林不忘（～1.22）
- 1.16 御国淨瑠璃「餅合戦」鈴木幸竜→昭44.2.3・ラジオ 奥淨瑠璃
- 1.25 ピアノと管弦楽、リスト「ピアノ協奏曲第2」井口基成
- 1.29 流行歌謡週間第1日「赤城の子守唄」東海林太郎
- 2.7 浪花節「よもすがら検校」鼈甲斎虎丸
- 2.20 女流コンサート、独唱「蝶々夫人」中村淑子、ピアノ黒川いさ子
- 2.24 日伊初の交換放送、ミラノ・スカラ座から歌劇「道化師」ガレツフィ
- 3.5 ラジオドラマ「なだれ」毛利菊莉、作真船豊、好評で昭11.2.25再演
- 3.10 日露戦30周年・陸軍記念日、東劇中継「元帥大山巖」井上正夫
- 3.14 講談「清水次郎長・大瀬半五郎」神田松鶴ほか
- 3.22 管弦楽「第9番」里沢卓三
- 3.24

58 レコード／1935（昭和10）年

1935（昭和10）年

- 1月 ヴァイオリン独奏「アンダンテ・カンタビレ」諏訪根自子、コロムビア
映画物語「清水次郎長・秋葉の血祭」鈴木光太郎、ボリドール
流行歌「嘆きのボレロ」渡辺はま子、ピクター
流行歌「影を慕ひて」楠木繁夫、ティチク
流行歌「仰ぐ銀嶺」林伊佐緒、日東
流行歌「酒は呑みたし」リーガル万吉・千太、リーガル
万才「酒は呑みたし」リーガル万吉・千太、リーガル
青年歌「日本行進曲」東海林太郎、キング
- 2月 流行歌「国境の町」東海林太郎、ボリドール
流行歌「国境の唄」幾松、オーゴン
浪花節「赤城の子守唄」寿々木米若、ティチク
ジャズ「不景気なんか？」中野忠晴、コロムビア
人情歌「名匠浜野姫隨」談州樓燕枝、ピクター
「ダイナ」ディック・ミネ
ティチク制作の漫才「お客様本位」三遊亭柳枝・花柳駒は発禁
- 3月 流行歌「ゆるしてネ」赤坂小梅、コロムビア
浪花節「お吉後日物語」春日井梅鶯、ボリドール
ジャズ「青空」川畑文子、ティチク
- 4月 流行歌「さくら日本」藤本二三吉、コロムビア
「さくらかっぽれ」浅草美知奴、オーゴン
流行歌「祖国の護り」小野巡、ピクター
流行歌「弥次喜多行進曲」東海林太郎、ボリドール
流行歌「ハイキングの唄」楠木繁夫、ティチク
- 5月 新小唄「桜をどり」市丸、ピクター
流行歌「夜ながし」音丸、コロムビア
主題歌「むらさき小唄」東海林太郎、松竹映画「雪之丞変化」、ボリドール
流行歌「天城疊れば」東海林太郎、キング
6月 「大江戸出世小唄」高田浩吉、ボリドール
「恋世旅」上野静夫、コロムビア
「倉義民伝」寿々木米若、ピクター
「妻の兵隊・入営の巻、靴磨の巻」柳家金語楼、ティチク
「國難を叫ぶ日蓮」熊岡天堂、キング

レコード

70%縮小見本

152 舞台芸能／1935（昭和10）年

1935（昭和10）年

- 1.1 大阪：福助改め中村梅玉「奥州安達原・袖袴祭文」大手笛瀬の手打ち、中座〔大朝〕
- 1.1 米パンテージ・ショウ、日劇、不入りで紛糾
「ピアニスト無用論」として兼常清佐は「音楽会の迷信」発表、樂界騒然〔『中央公論』〕
- 1.2 「元禄忠臣蔵」市川左團次、作真山青果、東劇
- 1.25 宝塚：宝塚大劇場出火全焼、4.1新築再開場〔宝塚歌劇五十年史〕
- 1.26 浪曲大会、鼈甲斎虎丸、木村重友、明治座（～1.29）
- 1.28 プラーグ、著作権使用料の支払いに応じない東京音楽学校を東京地裁へ出訴
- 1.28 PCL管弦楽団第1回公演、独唱リキー宮川、ベティ稻田、帝国ホテル演芸場
- 2.16 東京音楽学校演奏会、マーラー「第3交響曲」初演、指揮プリングスハイム、日比谷公会堂
- 2.23 築地座3周年記念「釣堀にて」友田恭助、作久保田万太郎、飛行館（～2.26）
- 3.1 5代尾上菊五郎33回忌追善「水天宮利生深川」尾上菊五郎、豊改め尾上松緑、4月も延長興行、歌舞伎座
- 3.1 大阪：中村鴈治郎追悼「絵本太功記・尼ヶ崎」実川延若、林長三郎、中座〔大朝〕
- 3.1 大阪：5代豊澤広助33回忌追善「修善寺物語」曲7代豊澤広助、原作岡本綺堂、同時に「京鹿子娘道成寺」桐竹紋十郎、編曲鶴沢友次郎〔プログラム〕
- 3.1 新派、日露戦争30周年記念「元帥大山巖」作・監督吉田絃二郎、東劇
- 3.1 「ハムレット」水谷八重子、改修坪内士行、東宝劇場（～3.24）
- 3.1 新協劇団「雷雨」滝沢修、作オストロフスキ、演出村山知義、飛行館（～3.4、公演回数6、観客数1,045人）〔新協5周年史〕
- 3.10 大阪：上方舞復興の「上方舞大会」松本さだ、佐藤くに、北陽演舞場、主催上方郷土研究会〔上方〕
- 3.10 軍樂行進、日露戦争30周年、陸軍戸山学校軍樂隊、靖国神社→日比谷公会堂
- 3.13 新響「第9」指揮近衛秀麿、日比谷公会堂（3.20も）
- 3.19 高田せい子舞踊発表会「未完成交響曲」、日比谷公会堂
- 3.23 大阪：朝日五流能「熊野」梅若万三郎、朝日会館〔大朝〕
- 3.24 金曜会、歌劇「カルメン」佐藤美子、藤原義江、演出・指揮山田耕作、軍人会館（～3.26）

舞台芸能
原寸見本

364 映画／1935（昭和10）年

1935（昭和10）年

- 1.5 「鞍馬天狗・丁字屋活殺篇」嵐寛寿郎、監督曾根千晴、原作大師、15日から完結篇「彰義隊乱刃篇」
- 1.7 「中仙道を行く退屈男」市川右太衛門、監督古野英治、松竹
- 1.14 映画館の伴奏レコード、取締りが厳しくなる
- 1.31 浪曲映画「乃木將軍」山本嘉一、寿々木米若、監督池田富保、日活1位
- 2.13 「最後の億万長者」マックス・デアリー、監督ルネ・クレール、仏、帝劇（洋）
- 2.15 「大江戸出世小唄」高田浩吉、監督大曾根辰夫、脚色藤井滋司、松竹
- 2.28 「国定忠治」大河内伝次郎、監督山中貞雄、日活（5位）
- 2.28 「忠治亮出」市川朝太郎、監督・原作・脚色伊丹万作、新興（4位）
- 3.7 「未完成交響曲」ハンス・ヤーライ、マルタ・エッゲルト、監督・脚色ウイリー・フォルスト、ウィーン交響楽団、独、帝劇、2週続映（洋4位）
- 3.14 日劇、東宝映画封切館として開場、全館50銭均一〔中外商業〕
- 3.16 佐世保：佐世保会館引火全焼、死者1名、負傷30余名〔大朝〕
- 3.19 松竹キネマ従業員、トーキーによる失業懸念と生活保護を要求してストライキ、3.28警視庁あせん、7.1以降は樂士や説明者は全廃される〔松竹七十年史〕
- 3.21 「ロスチャイルド」ジョージ・アーリス、監督アルフレッド・ワーカー、構成・指揮ダリル・ザナック、米、帝劇（洋3位）
- 3.23 京都・木津町：泉座引火全焼、2名焼死、3名重傷〔大朝〕
- 3.28 「アラン」コルマン・キング、監督ロバート・フラー

映画
70%縮小見本

224 物故者／1935（昭和10）年

1935（昭和10）年

- 5.11 3代錦町斎典山（72、講談）
- 5.15 1.7 嵐橋三郎（47、歌舞伎）〔大朝〕
- 2.1 初代中村鴈治郎（76、歌舞伎）
- 2.28 坪内逍遙（77、創作、評論）
- 3.10 5代藤間勘十郎こと勘祖（71、日舞）
- 4.7 7代竹本源太夫（55、義太夫）
- 5.2 3代荒木古童（58、尺八）
- 6.29 初代橋ノ内（66、落語）溺死〔中外商業〕
- 6.29 立花家橘之助（66、音曲）溺死〔中外商業〕
- 7.3 東屋三郎（45、新劇）〔中外商業〕
- 7.6 2代談州樓燕枝（67、狂言）
- 7.23 4代古今亭今輔（50、落語）
- 8.11 駒田好洋（59、映画説明）
- 9.1 2代山本東次郎（72、狂言）
- 9.14 水谷竹紫（54、創作）
- 9.22 3代坂東秀調（56、歌舞伎）
- 10.3 6代芳村伊十郎（78、長唄）
- 11.29 松本長（59、能楽）

1936（昭和11）年

- 1.27 萩岡松齋（73、箏曲）
- 2.16 萩江ひさ（85、萩江節）
- 3.12 サルコリ（68、歌手）
- 3.13 小沢良輔（66、能楽）
- 3.27 23代金剛右京（65、能楽）
- 4.15 比留間賢八（70、マンドリン）〔比留間賢八の生涯〕
- 4.17 鶴澤寛治郎（65、文楽三味線）
- 4.20 4代沢村源之助（78、歌舞伎）
- 4.21 高峰筑風（58、琵琶）
- 5.11 納所弁次郎（72、作曲）

物故者
70%縮小見本

本書を推薦します

『近代日本芸能年表』発刊によせて

皆川達夫

「余人をもつては替え難い」

宮地正人

『近代日本芸能年表』原稿を拝見して、驚き入り、かつ感嘆した。一口に「芸能」と呼んでも、ここには能・歌舞伎からサーカス・手品までを含む「舞台芸能」あり、「映画」あり、「レコード」あり、「ラジオ」ありと、多角的な視野からひろく種々の事項が年代順に記されている。

時代を一八五三年（嘉永六年）から一九五二年（昭和二十七年）までに区切っていることも、注目すべきことである。封建制をようやく脱した我が国が近代国家としての歩みをはじめ、あの戦争という悲劇後に復興をめざして立ちあがる、まさに激動の一〇〇年もの時の貴重な記録なのである。

『芸能年表』といいながら、そこには政治やら経済やら軍事などがからみ合い、もつれあって、この時代に生きたすべての日本人、さらにはこの国を訪れた人々の息づかいまでが感じとら

れてくる。戦争が始まりかけた頃に成長したわたくし個人にとつても、自分が生きてきた姿を再生された思ひがする。

中には、思わず吹き出してしまう事項があつたり、たとえ過去の話であつても憤りを抑えきれない事項があつたりして、ついつい次の頁まで手がいってしまうのである。

ご承知のように、編著者の倉田喜弘氏は芸能史研究の第一人者であられる。林淑姫氏は、明治期以来の新聞掲載芸術関連記事調査にかけて大のヴェテランである。今回の見事な『近代日本芸能年表』は、その倉田・林両氏の編著による書である。

多少なりとも芸能、文化、さらには過去の日本の社会の動きに关心をもたれる向きには欠かすことのできない好出版である。

（立教大学名誉教授）

今回、ゆまに書房から、倉田喜弘・林淑姫両氏の編著による『近代日本芸能年表』全二巻が刊行されると聞き、よろこんで推薦した。編者の倉田氏には、長い間学恩を受け、どれほど手堅く資料を集め、徹底的な実証の中で史料集をつくり、また芸能史研究を前進させてきたか、知悉する立場に近代史研究者の私がいるからである。もつた広い視野と、確実な出典への尋常ならざる執念の到達点がこの『年表』に結実することになるのではなかろうか。今後、ある時期、ある分野における個別の研究はなるほど少しは進むかも知れないが、文化史もふくめた史学の生命ともいえる、「余人をもつては替え難い」全体を見わたす広角度の視界と絶妙なバランス感覚を同氏はもちあわせているのである。

私の専門とするのは、芸能史というよりは政治史に近いが、社会史を基礎に政局史を組み立てることに腐心しており、芸能史はどうしても不可欠な知識となつてくるとともに、研究に使う材料が、日々記だつたり、書状であつたり、巷間の風聞・流言を記録する「風説留」となる。幕末期でも、明治期でも、そして昭和期においても、年代を推定し、筆者・記録者の心理に迫ろうとする場合の手掛りが、そこででの役者の死亡記事だつたり、上演歌舞伎の演目だつたり、更に映画批評になるのである。研究者には、各人ごとの座右の書というものがはある筈だが、私の場合は岩波の『近代日本総合年表』である。芸能関係の情報を調べるたびに、社会・芸能の欄を開きつづけ、手許の六十八年初版本は相当以前に表紙がなくなつてしまつていて。今回の『年表』は岩波のと同様一つ一つ典拠が示されていて、常に奥へ進むことが可能であると同時に、芸能活動にかかる法令や行政の対応がその中にくみこまれている。本『年表』が、單に索引を利用して「引く」年表にとどまらず、じつくりと横によみこみ、分野史年表としてだけでなく、民衆の喜怒哀楽をふまえた総合的な通史への展望を開く「読む」年表としても十二分に活用されることを推薦者として期待したい。

（東京大学名誉教授）

近代日本芸能年表 全2巻

[著] 倉田喜弘／林 淑姫 ●造本・装丁: A5判上製／クロス装／カバー装／本文8.5ポ横組／上巻464頁(予定)／下巻356頁(予定)

全2巻 ●予定価: 本体36,000円+税 ISBN978-4-8433-4140-7 C3074

2013年7月刊行予定

●上・舞台芸能／映画

定価: 本体18,000円+税 ISBN978-4-8433-4227-5

●下・レコード／ラジオ／物故者／付属資料／典拠資料一覧／索引

定価: 本体18,000円+税 ISBN978-4-8433-4228-2

本書の特色

●ペリーからマッカーサーまでの100年にわたる

封建制瓦解のきっかけとなったといわれるペリーの浦賀来航の1853(嘉永6)年より、太平洋戦争後、日本が復興を目指して立ち上がった、マッカーサー離日の翌1952(昭和27)年の日本独立まで、いわゆる近代日本100年間にわたる、詳細な総合芸能年表。

●近代日本のあらゆるジャンルの芸能を網羅

歌舞伎・文楽・能楽などの古典芸能はもちろん、新劇等の諸演劇や舞踊、邦楽・洋楽等の音楽、浪曲・落語等の寄席芸能、サーカス・手品までをも含む「舞台芸能」と、「映画」、「レコード」、「ラジオ」等あらゆる芸能をジャンル別に網羅。

●メディア史や政治史、文化史、民族史等、総合的な通史研究にも必備

例えば「舞台芸能」では上演日や上演場所、作品名、作者、役者、演出者等を記載するばかりではなく、「入り」の状況やそれに関する法令の施行、行政の対応等々、さまざまな関連事項を掲載。総合年表としても有用。

●「人名索引」及び「作品名索引」を附す

下巻には、年毎の物故者を編年体で掲載するとともに、検索の便を図るために、巻末に「50音順人名索引」及び「50音順作品名索引」を附す。

満洲映画 全8巻

【監修】白井啓介 [解題] 上田学 [解説] 鈴木直子 昭和初期、満洲で刊行された唯一の映画雑誌。幻の植民地映画資料ついに復刻なる!
B5判上製●各巻定価: 本体24,000円+税(予想本体192,000円)

世界アニメーション歴史事典

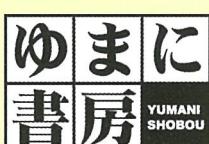
【著】スティーヴン・キャヴァリア 世界の代表的作品を年代順に掲載。約100年にわたるアニメーションの世界史をこの一冊で概観!
B4判変型/上製/406頁/オールカラー●定価: 本体8,500円+税

明治～昭和初期 俳優名鑑集成 全14巻

歌舞伎俳優、内外の映画俳優や舞台俳優たちのプロフィール、出演作、住所、好きな食べ物、そして貴重なポートレート等が満載!
A5判上製●予定価: 本体156,000円+税

キネマ週報 全27巻+別巻1

【監修】東京国立近代美術館フィルムセンター
第Ⅰ期 全24巻+別巻1 B5判上製●予定価: 本体562,500円+税
補遺篇 全3巻 B5判上製●予定価: 本体 67,500円+税



〒101-0047
東京都千代田区内神田2-7-6
TEL.03(5296)0491
FAX.03(5296)0493
<http://www.yumani.co.jp/>
e-mail eigyou@yumani.co.jp

●特におすすめしたい方● 日本芸能史・メディア史・日本近代史・文化史の研究者、関係研究機関、大学図書館、公共図書館など。

ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493

年 月 日

※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。

ご注文書 近代日本芸能年表 全2巻

予定価: 本体36,000円+税 ISBN978-4-8433-4140-7 C3074

取扱店
セット

13.06/01.7000.FR

TEL ()

お名前
ご住所